



南山城相談支援センターニュース

〒619-0231 京都府相楽郡精華町山田医王寺1 TEL: 0774-72-1255

アンケートの御協力ありがとうございます

今年度から、相談の振り返りと今後の相談に活かすため巡回相談の実施直後にアンケートを実施しています。ほとんどのケースで返信をいただき、ありがとうございます。

1学期は、そのアンケートの中に【個別の教育支援計画・指導計画について】【合理的配慮、基礎的環境整備について】の項目を設けました。各学校から頂いた質問などを紹介します。



個別の教育支援計画・指導計画

個別の支援計画・指導計画の基本的な作り方・書き方について

児童の見立てや書き方のポイントを全職員で共通理解することが難しい

園、小学校や中学校から引き継いでも、なかなか活用しきれていないのが現状

うまく活用するためにはどうしたらよいか

- ①アセスメント票→個別の教育支援計画→個別の指導計画という作成手順が大切です。
- ②一人で作るのではなく、特別支援コーディネーターや学年団等と相談しながら作成する。
- ③引き継がれることがまず大切。それを参照して今年度分を作成することで、現場で活用できる実践につながる。
- ④「作って終わり」にならないように、見直す時期を決めて、支援を「実行」して成果を問う。

合理的配慮、基礎的環境整備

合理的配慮とユニバーサルデザインの違い

高校入試に向けての配慮がどれだけあるのかが知りたい

合理的配慮での評価の仕方について



京都府スーパーサポートセンター（SSC）で、「これでスッキリ! 合理的配慮」「これでスッキリ! ユニバーサルデザイン授業」リーフレットを発行しています。とてもわかりやすく、かつ見やすくまとめられているので是非ご活用ください。*京都府スーパーサポートセンター（SSC）のホームページよりダウンロードできます。

<https://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-ssc/cms/>

発行物>リーフレット

<オススメ本の紹介>



「放課後カルテ 全16巻」

講談社

(著) 日生マユ

子どもたちの未来を守る最後の砦「保健室」に謎の問題医・牧野先生がやってきた！口も態度もでかい謎のドクター・牧野先生がだれも見落としてしまう小さな病気のサインにどこか冷めながらも(?) 向き合うようですが……! ?
(講談社コミックプラス「放課後カルテ」紹介より一部抜粋)

教室の中で気になるあの子、気づかれにくいあの子。子どもたちが抱えている課題を丁寧にあぶり出し、わかりやすく考えさせてくれる「きっかけ」「導入」になる作品。漫画なので力まずに読めるのが良いです。



「読めなくても、書けなくても、勉強したい
ディスレクシアのオレなりの読み書き」

ぶどう社

(著) 井上智・賞子

43歳で、著者は「ディスレクシア」だったと知りました。この本は「読み書きができない」著者が、妻の助けをかりながら、一生懸命書いたものです。

(「BOOK」データベースより抜粋)

研修会で著者自身のお話を聴き、涙しました。スポーツもでき、明るく友だちも多いリーダー的存在だった著者が抱えていた苦しみ。「読めない、書けない」ということがどれほど心を傷つけるか。一読すると、新しい目で子どもたちを見られるかもしれません。



～南山城支援学校の取り組み紹介～

本校では昨年度より「インクルーシブ活動部」を校内組織に位置づけています。地域との連携を深め、教育活動に様々な地域資源を取り入れていくことを、これまで以上に推進していくことをねらいとしています。地元企業やボランティアサークルさんなど多様な学びの場やつながりの中で、「挨拶」「身だしなみ」といった『当たり前』のことがしっかりできることの大切さを感じています。地域社会に学びの場をさらに広げていくことがこれからの支援学校には必要ですね。

